

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	国語	科目（単位数）	現代文（文系3、理系2）	学年	3	類型	
学習目標	～行動で思考を深める～ （１）言語感覚を磨き、高度な語彙力を身につける。 （２）文章を分析的に読解する力をつける。 （３）感じたこと・考えたことを的確に表現する力をつける。 （４）話すこと・聞くことを中心としたコミュニケーション能力を高める。 （５）文学作品の鑑賞力を養い、豊かな感性を身につける。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	①評論「言語と記号」丸山圭三郎	①論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	①小説「藤野先生」魯迅 ②評論「鏡の中の現代社会」見田宗介	①藤野先生の人間像と「私」の思いとを、時代背景に注意しながら、表現に即して読み取る。 ②さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	①評論「社会の壊れるとき一知性的であるとはどういうことか」鷺田清一 ②小説「檸檬」梶井基次郎	①事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。 ②登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。檸檬の描写、内的感覚を捉え、表現を読み味わう。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	①評論「サッカーにおける『資本主義の精神』」大澤真幸 ②評論「抗争する人間」今村仁司	①筆者の述べるサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 ②人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	問題集を用いた演習	・より早く正確な文章内容把握、読解ができるようになる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「精選現代文B」（東京書籍） 副教材：「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）、「大学入試に出た 核心漢字 2500+語彙1000」（尚文出版）、「現代文単語 げんたん 改訂版」（いいずな書店）、「センター・共通テスト過去問10年分（尚文出版、）共通テストオリジナル問題集（いいずな書店）」 週末課題等：「完成現代文」（尚文出版）						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・黙読する。・音読する。・語彙を広げるため辞書を引く。 ・内容ごとにまとまりを意識し、各展開における具体例と筆者の主張との関係を捉える。 ・抽象的な表現に注目し、平易な表現に言い換える。 ・筆者の主張を踏まえて、意見交換を行い、社会や人間のありようを捉え直す。 ・作品中に表われる人間関係に触れ、それぞれの立場から他者との関わりを疑似体験する。 						
評価方法	提出物による評価を2割、考査による評価を8割で総合的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。						

教科	国語	科目（単位数）	古典（文系3、理系2）	学年	3	類型	
学習目標	～行動で思考を深める～ （1）言語感覚を磨き、高度な語彙力を身につける。 （2）文章を分析的に読解する力をつける。 （3）感じたこと・考えたことを的確に表現する力をつける。 （4）話すこと・聞くことを中心としたコミュニケーション能力を高める。 （5）文学作品の鑑賞力を養い、豊かな感性を身につける。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	①日記「蜻蛉日記」なげきつつひとり寝る夜 ②唐宋八大家の文章「欧陽文忠公集」売油翁	①当時の結婚形態を学び、女性としての作者の心情を理解する。和歌の修辞とそこに表れる詠み手の心情を理解する。 ②語句・句法の意味、用法に注意し、本文の内容を理解する。登場人物の心理を理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	①物語「源氏物語（二）」萩の上露【御法】 ②「史記 刺客列伝」風蕭蕭兮易水寒	①敬語に注意して本文を正確に理解しながら、話の流れを捉え、物語文学としての魅力を味わう。 ②語句・句法の意味、用法に注意し、本文の内容を理解する。荆軻の歌の内容を理解し、荆軻の心情を読み取る。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	①日記「和泉式部日記」夢よりもはかなき世の中を ②思想 諸子百家 ③評論「源氏物語玉の小櫛」もののはれ論 ④小説「陶淵明集」桃花源記	①贈られた橘の花の意味や贈答される和歌の内容を正確に読み取る。敬語について復習し、本文中での用法を理解する。 ②古代中国の思想を現代社会にも活かすような柔軟かつ広い視野を獲得する。 ③評論を読むことで、日本固有の文学や芸術を創り育て、継承してきた人々の真摯な思いを理解し、芸術文化を尊重する気持ちを養う。 ④訓読のきまり句形に従って、正確に、繰り返し本文を読み、本文に描かれた世界はどういうものか確認し、本文を著した作者の思いを考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	①物語「落窪物語」姫君の苦難 ②史話「十八史略」赤壁之戦	①登場人物の心情を正確に理解し、王朝物語の諸相を学び、物語の豊潤な世界を味わう。 ②登場人物の行動や心情を論理的に考察し、発展的に読解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	①近世の文章「雨月物語」浅茅が宿 ②問題集を用いた問題演習	①近世の小説について、基礎的な知識を持ち、話の展開に従い、人物の心情を読み取る。 ②より早く正確な文章読解ができるようになる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「精選古典B」（東京書籍） 副教材：「体系古典文法」（数研出版）、「精説漢文」（いわずな書店）、「古文単語330」（いわずな書店）、「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）、「完成古典」（尚文出版）、センター・共通テスト過去問題10年分（尚文出版）、共通テストオリジナル問題集（いわずな書店）						
学習方法	・黙読する。・音読する。・語彙を広げるため辞書を引く。 ・予習、復習を通して、古文単語、文法、漢文句法の習得、応用に努める。 ・古典作品を通して当時の人の生き方や考え方を知り、自分自身のあり方生き方についての考察を深める。						
評価方法	提出物による評価を2割、考査による評価を8割で総合的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。						

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	日本史B（4）	学年	3	類型	全
----	------	---------	---------	----	---	----	---

学習目標	①「過去」に真摯に向き合い学ぶ姿勢と、未来を展望する力及び自国の歴史を総合的に俯瞰する力の涵養。②身近な地域社会の歴史に関する関心の喚起。③巨視的・微視的視座を往還しつつ思考する力や、それを基盤とする柔軟な思考力の涵養。④巨視的視座に基づく偏執的な自国中心的思考の排除と、自国の伝統を悠久たる歴史に求める意識の喚起。
------	--

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	【注意】新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）への感染症（COVID-19）の拡大状況により、授業進捗が変動する可能性があることには留意してください。 ①日本のあけぼの ②古代国家の形成	①日本列島における旧石器、縄文、弥生期の特徴を理解する。特に弥生期においては、大陸との関係について留意する（文明の伝播及び小国連合、邪馬台国について）。 ②ヤマト政権の積極的な対外政策を、その国内統治と併せて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～ 期末考査	②古代国家の形成 ③古代国家の展開 ④宮廷貴族社会の成立 ⑤武家政権の成立	②厩戸（聖徳太子）政権から天武・持統朝までの各政権に係る共通点・相違点の精確な理解をはかり、その「共通点」の成果である律令体制について、民衆の負担と併せて理解する。 ②仏教の興隆が国内（文化面に限らない）に及ぼした影響を理解する。 ③④⑤王権の変遷と、武士の台頭に至る政治史の展開（他氏排斥～摂関政治～院政～平氏政権～鎌倉幕府）を、論理的に理解する。 ③④末法到来による仏教の変化を理解すると同時に、貴族の信仰・風習を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～ 2学期 中間考査	⑤武家政権の成立 ⑥中世社会の展開 ⑦幕藩体制の確立	⑤武士の台頭から武家政権の成立までの過程を理解する（特に、鎌倉幕府の性格とその変化に留意する）。 ⑤平安末～鎌倉期における仏教の変化を軸とした文化の展開を理解する。 ⑥⑦室町～江戸初期に係る武家政治の展開について、精確に理解しつつ、概観できるようになる。 ⑥⑦武家政権により荘園公領制が動揺・消滅する過程を理解する。 ⑥⑦文化面における仏教の位置付けの変化を意識しつつ、室町、桃山、江戸初期各文化を概観する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～ 期末考査	⑦幕藩体制の確立 ⑧幕藩体制の展開	⑥⑦室町～江戸初期に係る武家政治の展開について、精確に理解しつつ、概観できるようになる。 ⑥⑦武家政権により荘園公領制が動揺・消滅する過程を理解する。 ⑥⑦文化面における仏教の位置付けの変化を意識しつつ、室町文化、桃山文化、江戸初期の文化を概観する。 ⑧安定した幕藩体制下の政治史と、諸産業・経済の発展について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～ 年度末	⑧幕藩体制の展開 ⑨幕藩体制の動揺 ⑩歴史の論述（文Ⅰ） ⑩問題演習（文Ⅱ・理系）	⑨幕藩体制の動揺に至る展開をその要因とともに学習し、それらが近代の成因であることを併せて理解する。 ⑩文Ⅰ「歴史の論述」では各自が自由にテーマを設定し、史資料などの根拠に基づいてそれぞれの論を展開する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	教科書 『新日本史B 改訂版』（山川出版社）※熟読すること 副教材 授業傍用として『新日本史ノート 改訂版』及び『日本史用語集』（ともに山川出版社）、『最新日本史図表』（第一学習社）の3冊、演習用として『4ステージ演習ノート』（数研出版）を指定する。
学習方法	①【最重要】毎回、指定箇所を予習した上で授業に臨む。授業は、予習を前提として行われる。 ②教科書を熟読し、その文脈の中に重要歴史用語を位置付けながら歴史の展開を理解する。 ③授業や家庭学習で、各歴史用語間にどのような関係があるのか（または、関係がないのか）把握する。 ④進捗予定の詳細は、別途配付する。
評価方法	①定期考査（80％） ②平常成績（20％） 定期考査以外の実績等は②の算出に利用される。また、授業者・出題者の内容の誤りを指摘できた場合は、②にさらに加点する。ただし、文Ⅰ「歴史の論述」は3学期の成績として取り扱う。

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	世界史B（4）	学年	3	類型	文理共通
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させることによって、歴史的思考力を培う。また、わが国との関わりに着目させることにより、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	⑬帝国主義とアジアの民族運動 ⑭二つの世界大戦	⑬帝国主義時代における列強諸国の特徴や、列強進出に抵抗するアジア諸国の民族主義運動について、その特徴を捉え、第一次世界大戦の背景として理解する。 ⑭2度にわたる世界大戦がおきた原因と結果を理解し、大戦を避けるような選択肢がなかったどうか考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	①オリエントと地中海世界 ②アジア・アメリカの古代文明	①オリエント文明を端緒とし、地中海周辺地域で成立した諸文明の特質を理解する。 ②地中海世界以外の地域で発生・発達した諸文明の特質を理解する。また、諸地域文明を比較し、その相違を考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	③内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ④イスラーム世界の形成と発展 ⑤ヨーロッパ世界の形成と発展	③農耕民族と遊牧民族の抗争、繰り返される分裂と動乱のなかから、中国を統一した王朝が東アジア地域全体に影響を与えたことを理解する。 ④西アジアに誕生した宗教イスラームが該当地域の政治的文化的統一の紐帯の役割をはたし、文明空間を拡大させたことを理解する。 ⑤イスラームの驚異にさらされたユーラシア大陸西端の地域が、キリスト教を紐帯にヨーロッパという文明空間を形成していく過程を理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	⑤ヨーロッパ世界の形成と発展（の続き） ⑥内陸アジア世界・東アジア世界の展開 ⑦アジア諸地域の繁栄	⑥内陸アジアの動向と東アジアの諸民族の自立の動きを理解する。また、モンゴル帝国・元の時代にユーラシアの陸と海のネットワークがつながったことで、どのような交流がおこなわれるようになったかを考察する。 ⑦14～18世紀までのアジア諸地域の国家とその社会について理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	⑮冷戦と第三世界の自立 ⑯現在の世界	⑮第二次世界大戦後の国際秩序である米ソ冷戦の流れと冷戦の構造（第三世界、南北問題等）を理解する。 ⑯冷戦終結後～現在の状況を学び、流動化している国際情勢に関心を持つ。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 （教科書・副教材）	教科書『詳説世界史B 改訂版』（山川出版社） 副教材『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）、『世界史用語集』（山川出版社） 『世界史重要語句 Check List』（啓隆社）						
学習方法	①用語集や問題集を活用し、重要歴史用語を把握し、内容を理解する。 ②基本的な知識を関連づけて、「歴史の流れ」や「時代の枠組み」を理解する。 ③図説の図版や史料、地図等を活用し、歴史を多角的に考察する。						
評価方法	①定期考査（70％） ②平常成績（30％） 出席状況、課題の提出状況、授業中の発言等で②を算出する。						

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	地理歴史	科目（単位数）	地理B（4）	学年	3	類型	文理共通
学習目標	世界的な広い視野に立ち、人々の生活の地域的特色やその動向を、自然環境及び社会環境との関わり合いにおいて理解し、現代世界に対して地理的な認識を養うとともに、国際社会における日本の立場と役割について学ぶ						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	○資源と産業 ・世界の農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域および日本国内における農林水産業の現状と問題点を把握する。 世界の諸地域の農林水産業やその移動について地理的相関関係を学習する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 食料問題 ○資源と産業 世界のエネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 世界の工業 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域および日本国内における食料問題を理解し、その解決に向けた思考力を養う。 世界の諸地域および日本国内におけるエネルギー・鉱産資源および工業の現状と問題点を把握し、その解決に向けた思考力を養う。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○人口、村落・都市 世界の人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題 	<ul style="list-style-type: none"> 統計や資料等から、人口問題、居住・都市問題の現代の状況を把握し、地理的位置関係によりそれが相互に関連し、また地域によって問題点が異なることを理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○現代世界の諸地域 東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の自然と産業を踏まえ、生活と文化を理解し地域性を理解する。 日本との関わりや諸地域の問題点を学習する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	<ul style="list-style-type: none"> ○現代世界の諸地域【復習】 東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の自然と産業を踏まえ、生活と文化を理解し地域性を理解する。 日本との関わりや諸地域の問題点を学習する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） 新編地理資料（東京法令出版）、データブックオブ・ザ・ワールド2023年版（二宮書店）、サクシード地理（啓隆社）						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科書内容（言語や歴史、現代社会の状況等）の把握 地図帳での位置や統計の確認 統計表等、資料による理解 						
評価方法	定期考査成績7割（中間・期末等） 平常点3割（週1回程度の小テスト（Google forms）、提出物、ワークシート、授業活動への取り組み等）						

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	公民	科目（単位数）	政治・経済（2）	学年	3	類型	文理共通
学習目標	政治や経済の基本原則の理解をはかるとともに、グローバル化の著しい現代を生きる資質を育成する。また、人間尊重の精神に基づいて、人間の存在や価値についての理解と思索を深めさせ、自主的で実践的な態度の育成に努める。						
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標			自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民主政治の基本原則 <ul style="list-style-type: none"> 1 政治と法 2 民主政治のあゆみ 3 民主政治の基本原則とその展開 4 政治体制の比較 ○ 日本国憲法と基本原理 <ul style="list-style-type: none"> 1 日本国憲法の基本的性格 2 基本的人権の保障 3 日本国憲法の平和主義 		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、政治や法とのかかわりを実感することができる《関心》 ・市民革命以降の民主政治の歴史的なあゆみを理解する《知識》 ・民主政治の基本原則を、身近な集団生活の中で活用できる《技能》 ・現代の社会における民主政治の価値やその必要性を評価できる《思考》 ・日本と各国の政治体制を比較して、その違いを理解できる《知識》 ・日本国憲法と明治憲法の違いを理解できる《知識》 ・主権者として、どのように政治に関わるかを意識することができる《関心》 ・日本国憲法にある権利を、身近な事例で示すことができる《技能》 ・日常生活における事例を、憲法の条文と関連づけて考えることができる《関心》 ・日本国憲法の平和主義を、現在の日本を取り巻く国際情勢の中で評価できる《思考》 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期中間～ 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の政治機構 <ul style="list-style-type: none"> 1 国会のしくみと役割 2 内閣と行政機構 3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活 		<ul style="list-style-type: none"> ・国会・内閣・裁判所のしくみとその役割、関係を理解できる《知識》 ・国会での審議や内閣の方針など、時事問題に関心を持つことができる《関心》 ・裁判員制度の導入によって、司法がどう変わったかを考えることができる《関心》 ・地方自治のしくみを理解し《知識》、身近に行われる地方政治を点検することができる《関心》 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期期末～ 2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治参加と民主政治の課題 <ul style="list-style-type: none"> 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会 		<ul style="list-style-type: none"> ・現実の選挙に対して、その争点や結果についてコメントできる《関心》 ・大選挙区・小選挙区・比例代表などの選挙制度を理解し比較できる《技能》 ・戦後の日本の政党政治のあゆみと「55年体制」を理解できる《知識》 ・マスコミのあり方と、それに対する個人のあり方について考えることができる《思考》 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
2学期中間～ 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際政治の動向 <ul style="list-style-type: none"> 1 国際社会の特質と国際法 2 国際社会の組織化 3 戦後国際政治の展開 ○ 国際社会の課題と日本の役割 <ul style="list-style-type: none"> 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 日本の国際的地位と役割 		<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会を比較して、国際社会の特質を理解できる《知識》 ・国際法の意義を考え、具体的な例を挙げることができる《思考》 ・国際連合の設立とその課題を考えることができる《思考》 ・第二次世界大戦後の国際政治のあゆみを、概観して理解できる《知識》 ・第二次世界大戦後の米ソの軍拡競争と軍縮のあゆみを理解できる《知識》 ・民族・地域紛争の背景を知り、その展開と結果を確認できる《知識》 ・国際社会における日本の地位や立場の変化を把握できる《技能》 ・国際社会が、日本に対して期待している役割について考えることができる《思考》 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	

使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「政治・経済」（数研出版） 資料集：「最新 政治・経済 資料集 2023」（浜島書店） 問題集：「政治・経済 整理ノート」（数研出版）
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時の予習として、教科書をしっかり読み、整理ノートに重要事項を書き込んで授業に臨む。 ○ 政治のしくみや国際社会について確かな知識を身に付ける。 ○ 新聞やテレビで得た社会問題について、授業で学習したことを踏まえながら、その問題点や解決策について考えをめぐらす。
評価方法	○ 定期考査 ○ 提出物 ○ 小テスト

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	公民	科目（単位数）	倫理（2）	学年	3	類型	文Ⅱ・理系
学習目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成、人間としての在り方生き方などについて考えさせる。また、人格形成に努める実践力や主体としての自己を確立させ、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。						
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標			自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代に生きる自己の課題 1 人間とは何か 2 青年期の意義 3 自我の発見と自己形成 4 人格の形成と生きがい 		<ul style="list-style-type: none"> ・何をもって人間というのかを考えることができる。 ・青年が負っている課題について考えることができる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期中間～ 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間としての自覚 1 古代ギリシアの思想 2 キリスト教 3 イスラーム 4 古代インドの思想と仏教 5 中国の思想 		<ul style="list-style-type: none"> ・ソクラテス・プラトン・アリストテレスなどの思想家が求めた人間観、国家観、倫理観について理解できる。 ・宗教が人間に対して持つ意味について考察するとともに、自分なりの意見を表明できるようになる。 ・ユダヤ教の歴史と特徴、イエスの教えを理解するとともに、イエスの活動の意味を考察することができる。 ・現代イスラームの実情について関心を持ち、それについて調べることができる。 ・ウパニシャッド哲学の教義やブッダの思想について理解できる。 ・中国の思想に関心を持ち、諸子百家出現の背景や儒家の思想、荘思想が理解できる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期期末～ 2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統思想と東洋思想 1 日本の風土と古代日本人 2 仏教の受容と展開 3 儒学の需要と国学の発達 4 幕末の思想 ○ 近代の日本の思想 1 啓蒙思想と民権論、キリスト教 2 近代日本における哲学の誕生 3 大正デモクラシー 4 昭和初期の思想と超国家主義 ○ 国際社会を生きる日本人 1 現代の思想 2 私たちの課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土、神代神話、古代日本人の考え方について考察できる。 ・日本の仏教の受容とそれぞれの時代における仏教の役割について理解する。 ・儒学の受容とそれぞれの学派の主張を理解できる。 ・欧米化された現代日本社会の現状を振り返り、明治以降の日本の歩みに関心を抱くことができる。 ・啓蒙思想、キリスト教思想、伝統思想などについて、思想的特徴および思想的意義について理解できる。 ・近代思想、大正デモクラシー、近代日本哲学などの内容を理解するとともに、それらの思想が求めたものについて考察することができる。 ・現代の国際社会の中で、日本がどのような役割を果たしているのかを調べ、発表することができる。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
2学期中間～ 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西洋近代の思想 1 理性への信頼と人間の尊厳 2 自然・科学技術と人間 3 個人・社会と自由 4 民主社会の倫理 ○ 現代の思想 1 現代思想の流れ 2 現代社会と生き方 		<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスと宗教改革の意義を理解できる。 ・デカルト・ベーコンの思想の理解を通して、科学的思考の意味について考えることができる。 ・社会契約説の思想家、カント、ヘーゲルの思想の理解を通して、自由、法と道徳とは何かを考える。 ・ベンサム、ミル、プラグマティズムの思想家の思想を学び、幸福の問題や民主主義、教育について考える。 ・キルケゴールやニーチェ、サルトルなどの実存主義者の思想を理解し、主体的に生きることの意味について考える。 ・構造主義やフランクフルト学派などの理解を通して、野蛮と文明、理性と非理性について考える。 			取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「倫理」（数研出版） 資料集：「最新図説 倫理」（浜島書店） 問題集：「倫理 整理ノート」（数研出版）						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時の予習として、教科書をしっかり読み、整理ノートに重要事項を書き込んで授業に臨む。 ○ 先人の様々な思想に触れ関心を持つ。 ○ 人間とは何か、人間としてのあり方、生き方について深く考察する。 						
評価方法	○ 定期考査 ○ 提出物 ○ 授業態度（出欠状況を含む） ○ 小テスト						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目 (単位数)	数学Ⅱ(1)数学B(1)	学年	3	類型	文Ⅰ
学習目標	(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B) 2年次までに学習する高校数学全般の基本を確認しながら、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
期間	単元 (学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	「ファインノート②」	数学Ⅰを中心とした2年次までに学習する高校数学全般の基礎基本～標準レベルの内容を、問題集を利用して習得する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	「ファインノート②」	数学Aを中心とした2年次までに学習する高校数学全般の基礎基本～標準レベルの内容を、問題集を利用して習得する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	「ファインノート②」	数学Aを中心とした2年次までに学習する高校数学全般の基礎基本～標準レベルの内容を、問題集を利用して習得する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	「ファインノート②」	数学Ⅱを中心とした2年次までに学習する高校数学全般の基礎基本～標準レベルの内容を、問題集を利用して習得する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	「ファインノート②」	数学Bを中心とした2年次までに学習する高校数学全般の基礎基本～標準レベルの内容を、問題集を利用して習得する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「数学Ⅱ」「数学B」(数研出版) 副教材：「ファインノート②」(第一学習社)						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (抜けている分野をなくす、苦手分野の克服)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業態度(数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか)						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目 (単位数)	数学Ⅱ(3)、数学B(2)	学年	3	類型	文Ⅱ
学習目標	<p>(数学Ⅱ) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数および微分・積分の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>(数学B) 数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>						
期間	単元 (学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学ⅠAの記述型演習	<p>・数学ⅠAⅡBの問題集を使い、数学Aの内容を確認する。基礎的な学習を通して、過去の学習の知識を振り返る期間とする。</p>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	数学ⅡBの記述型演習	<p>・数学ⅠAⅡBの問題集を使い、引き続き数学的な考え方や知識を学び、具体的な問題に対するアプローチを学ぶ。</p> <p>・記述型の演習を行う中で、論理的に相手を説得する論述を学ぶ。また、自由な発想により、様々な視点からの解法があることも学ぶ。</p>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	数学ⅠAⅡBのマーク型演習	<p>・引き続き記述型の演習を行う中で、論理的に相手を説得する論述を学ぶ。また他者の答えを相互に見せあうことで、様々な視点からの解法があることも学ぶ。</p>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	数学ⅠAⅡBのマーク型演習	<p>・マーク型演習を行う中で、他者の思考プロセスを理解する力を育み、論理的な思考法を学ぶ。また、それらをきっかけに自らの課題に対するアプローチの手法の深化を図る。</p>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	数学ⅠAⅡBのマーク型演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習	<p>・マーク型演習や、記述演習を通して、大学入試等に対応できる力をつけることはもちろんであるが、さらに、確かな数学的論証力をつけることで、これからの社会の中で、活躍できる力をつける。</p>				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「数学Ⅱ」(数研出版)、「数学B」(数研出版) 副教材：「ニューグローバルマーチ数学ⅠAⅡB」(東京書籍) 「共通テスト対策 実力完成 直前演習Ⅰ・A」(Learn-S) 「共通テスト対策 実力完成 直前演習Ⅱ・B」(Learn-S)						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (抜けている分野をなくす、苦手分野の克服)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業態度(数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか)						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目(単位数)	数学Ⅲ(5)、数学B(2)	学年	3	類型	理系
学習目標	<p>(数学Ⅲ) 極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。また、複素数がもつ代数的な性質と、座標平面上の図形がもつ幾何的な性質の関連について考察できるようにする。</p> <p>(数学B) 数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>						
期間	単元(学習内容)		学習の到達目標			自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学Ⅲ 第6章 微分法の応用 P.166関数の極大と極小 第7章 積分とその応用		・様々な関数の導関数から関数の増減や凹凸を調べることができ、さらに方程式の実数解の個数や不等式の証明に利用することができる。 ・様々な関数の定積分法を理解し、いろいろな図形の面積や体積、曲線の長さを求めることができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第3章 関数		・複素数平面の意味を理解し、複素数を図形的に表すことのよさがわかる。 ・2次曲線の性質を理解し、媒介変数表示による図形の把握ができる。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	数学Ⅲの問題演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習		・記述型の演習を行う中で、論理的に相手を説得する論述を学ぶ。また、自由な発想により、様々な視点からの解法があることも学ぶ。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	数学Ⅲの問題演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習 数学ⅠAⅡBのマーク型演習		・マーク型演習を行う中で、他者の思考プロセスを理解する力を育み、論理的な思考法を学ぶ。また、それらをきっかけに自らの課題に対するアプローチの手法の深化を図る。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	数学Ⅲの問題演習 数学ⅠAⅡBのマーク型演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習		・マーク型演習や、記述演習を通して、大学入試等に対応できる力をつけることはもちろんであるが、さらに、確かな数学的論証力をつけることで、これからの社会の中で、活躍できる力をつける。			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「新編数学Ⅲ」(数研出版)、「数学B」(数研出版) 副教材：「スタンダード数学Ⅲ」(数研出版)、「NEW ACTION LEGEND数学Ⅲ」(東京書籍) 「ニューグローバルマーチ数学ⅠAⅡB」(東京書籍) 「ベーシックスタイル数学演習Ⅲ受験編」(数学出版) 「2022進研重要問題演習数学」(Learn-S) 「共通テスト対策 実力完成 直前演習Ⅰ・A」(Learn-S) 「共通テスト対策 実力完成 直前演習Ⅱ・B」(Learn-S)						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (抜けている分野をなくす、苦手分野の克服)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業態度(数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか)						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目(単位数)	実践数学(3)	学年	3	類型	文I
学習目標	(数学I・A) 1年次で学習する高校数学の基本を確認しながら、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学I 第1章 数と式 第2章 2次関数	【数学I分野】 数と式、2次関数について学び、高校数学の基礎を培う。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	第3章 図形と計量 第4章 集合と論証 第5章 データの分析	【数学I分野】 図形と計量、集合と論証、データの分析について学び、高校数学の基礎を培う。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 整数の性質 第3章 図形の性質	【数学A分野】 場合の数と確率、整数の性質、図形の性質について学び、高校数学の基礎を培う。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	数学I 第1章 数と式 第2章 2次関数 第3章 図形と計量 第4章 集合と論証 第5章 データの分析	【数学I分野】 数学I分野の応用について学び、数学を活用する力を培う。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～年度末	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 整数の性質 第3章 図形の性質	【数学A分野】 数学A分野の応用について学び、数学を活用する力を培う。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「例題から学ぶ数学I A」(実教出版)						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (抜けている分野をなくす、苦手分野の克服)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業態度(数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか)						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目(単位数)	物理(4)	学年	3	類型	理系
学習目標	日常生活の自然現象についての観察・実験を通して、基本的な概念や原理・法則を理解させ、その基本概念・法則を基に様々な現象を理論的に実証していく思考力と論理性・探究心を育てる。						
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	総合物理②第3編 波 第3章 光	・光の干渉について、具体例を学び干渉の条件がどのように変化するか理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	総合物理②第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流	・オームの法則やジュールの法則など、電流に関する法則について理解を深める。 ・キルヒホッフの法則を活用して、直流回路についての理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	総合物理②第4編 電気と磁気 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波	・磁場や磁束密度などの磁気に関する物理量を理解する。 ・電流と磁場の相互関係について、定量的、定性的に理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	総合物理②第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 電子と原子核	・光の粒子性と粒子の波動性について、具体例を学ぶことで理解する。 ・水素原子モデルに対するボーアの理論について理解する。 ・放射線の種類と性質、発生する仕組みについて理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校物理に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「総合物理①」数研、「総合物理②」数研 「2022 セミナー物理基礎+物理」第一学習社 「フォトサイエンス物理図録」数研						
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取組						

令和5年度（2022年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	化学（4）	学年	3	類型	理系
学習目標	①無機物質の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解する。②有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解する。③高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解する。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	5編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物 5章 有機化合物と人間生活	・芳香族化合物の性質や反応を構造と関連付けて理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活	・天然高分子化合物の構造や性質および合成について理解する。 ・合成高分子化合物の構造や性質および合成について理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 無機物質と人間生活	・周期表と元素の関係性を理解する。 ・典型元素と遷移元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 2学期期末	・理論分野総合演習 ・無機分野総合演習 ・有機分野総合演習	・化学の内容を総復習し、基礎を固め、さらには発展問題の演習を行い、既習内容の理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
期末～ 年度末	・理論分野総合演習 ・無機分野総合演習 ・有機分野総合演習	・化学の内容を総復習し、基礎を固め、さらには発展問題の演習を行い、既習内容の理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「改訂 新編 化学」東京書籍 「セミナー化学基礎+科学」第一学習社 「四訂版 サイエンスビューー 化学総合資料」実教出版						
学習方法	授業・演習・実験						
評価方法	①定期考査 ②課題確認テスト ③小テスト ④実験レポート ⑤提出物 ⑥授業での活動の取り組み						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目(単位数)	生物基礎(1)	学年	3	類型	文I
----	----	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	---

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	植物と動物のからだの構造 生物の成長と生殖	・植物のからだの構造を理解する。 ・動物のからだの構造を理解する。 ・細胞分裂と生殖を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考査	遺伝の法則	・メンデルの遺伝の法則を理解する。 ・血液型など様々な遺伝の仕組みについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考査	生物の体内環境	・体内環境が保たれていることを理解する。 ・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考査	生物の体内環境	・体内で様々な細胞が関わることで健康が維持されていることを理解する。 ・免疫と病気の関係について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考査 ～年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版生物基礎」数研出版 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版 「改訂版センサー生物基礎」啓林館
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目 (単位数)	生物基礎 (2)	学年	3	類型	文II
学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。						
期間	単元 (学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版生物基礎」数研出版 「新課程 ニューアチーブ生物基礎」東京書籍 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版 「リードLightノート 生物基礎」「チェック&演習 生物基礎」数研出版						
学習方法	予習と授業 (授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目 (単位数)	生物 (4)	学年	3	類型	理系
学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。						
期間	単元 (学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	第4章 生殖と発生 第5章 動物の反応と行動	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遺伝によって遺伝子の多様性が生まれていることが理解できる。 ・動物と植物の発生について、遺伝子の発現と関連づけて理解できる。 ・動物や植物が刺激を受容し、それに適した反応を示す過程を理解できる。 ・動物の行動について理解できる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	第6章 植物の反応と行動 第7章 生物群集と生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の環境応答におけるホルモンの役割を理解できる。 ・生物の種内・種間関係について理解できる ・生態系では生物の質・量的なバランスが維持されていることを理解できる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	第8章 生命の起源と進化 第9章 生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の誕生から現在に至るまでの生物の進化の過程を理解できる。 ・生物の系統関係を形態的・遺伝的な観点から理解できる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 3学期 学年末考査	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査～ 年度末	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版 生物基礎」 「改訂版 生物」 数研出版 「フォトサイエンス 生物図録」 数研出版 「リードLightノート 生物基礎」 「リードLightノート 生物」 数研出版 「改訂版センサー総合生物」 啓林館 「チェック&演習 生物」 数研出版						
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目(単位数)	地学基礎(2)	学年	3	類型	文系
学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、地学的な探究の方法を身につけさせるようにするとともに、地球の自然環境と日常生活や社会との関わりを考えることができるようにする。						
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	第2章 太陽放射と大気・海水の運動 3 海水の循環 第3章 日本の天気 1 日本の位置 2 冬から春の天気 3 夏から秋の天気	<ul style="list-style-type: none"> ・偏西風と大陸と海の影響を理解する。 ・各季節の特徴を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	第4部 宇宙の恒星 第1章 太陽系と太陽 1 太陽系の天体 2 太陽系の誕生 3 太陽	<ul style="list-style-type: none"> ・地球型と木星型の特徴を理解する。 ・太陽系の誕生について考察し、惑星の内部構造を理解する。 ・太陽の概観やその活動と地球への影響を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	第2章 恒星としての太陽の進化 1 太陽と恒星 2 太陽の誕生と進化	<ul style="list-style-type: none"> ・星の明るさ、色、距離などの基礎を理解する。 ・太陽の誕生からの進化を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	第3章 銀河系と宇宙 1 銀河系とまわりの銀河 2 宇宙の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・銀河系の構造を理解する。 ・銀河の分布と宇宙の姿を理解する。 ・宇宙の誕生から膨張する姿を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	第5部 自然との共生 1 地球環境と人類 2 火山・地震災害と社会 3 気象災害と社会 4 人間生活と地球環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地学的事象のスケールをイメージする。 ・火山、地震、気象災害と社会的なつながりを理解する。 ・オゾン層の破壊、温暖化、エルニーニョ、酸性雨などの環境変化について理解し、今後に及ぼす影響について考察する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「地学基礎」啓林館 「ニューステージ新訂地学図表」浜島 「研究ノート」博洋社 「センサー地学」啓林館 「チェック&演習地学基礎」数研						
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目(単位数)	理科探究(2)	学年	3	類型	文I
----	----	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	人間生活を科学の観点から捉え、身近な事物・現象に関する観察や実験を通して、科学に対する興味や関心を高めるとともに、21世紀の科学技術社会において必要とされる科学リテラシーの内容やその考え方を養う。
------	--

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～	運動と力	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の表し方を理解する。 ・力と運動の法則を理解する。 	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
～1学期期末 末考査	エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と力学的エネルギーを理解する。 ・熱とエネルギーを理解する。 	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
1学期期末 ～2学期 中間考査	波	<ul style="list-style-type: none"> ・波の性質を理解する。 ・音波を理解する。 	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
2学期中間 ～期末考査	電気	<ul style="list-style-type: none"> ・電荷と電流を理解する。 ・電流と磁場を理解する。 	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
2学期期末 ～年度末	理科と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーとその利用を理解する。 ・生活の中の理科を理解する。 	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD

使用教材 (教科書・副教材)	自主制作プリント集等
学習方法	授業と演習
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取組

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	芸術	科目（単位数）	音楽Ⅲ（3）	学年	3	類型	文Ⅰ
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	【歌唱】歌の表現力を高めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と歌詞の内容とのかかわりや、言語とリズムやフレーズとのかかわりなど、表現上の特徴を生かし、表現意図をもって歌う。 ・伴奏とのかかわりを理解し、ふさわしい表現で歌う。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	【歌唱・器楽】弾き語りに挑戦しよう 【歌唱】ヴォーカル・アンサンブルを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・弾き語りをしながら人に聴かせる時の表現を工夫する。 ・自分なりのイメージをもち、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・他の声部とのかかわりや音の重なり、全体の調和を意識して歌う。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	【歌唱】ポピュラー音楽の世界を堪能しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の表現上の特徴を理解し、それを生かして個性豊かに歌う。 ・伴奏とのかかわりを理解して歌う。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	【鑑賞】鑑賞力を伸ばそう	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりを理解する。 ・楽曲の文化的・歴史的背景、作曲者による表現の特徴、音楽を育んできた人々や地域の特徴を理解する。 ・鑑賞した楽曲について、自分なりの言葉で批評する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	【器楽・歌唱】日本の伝統音楽に親しまう	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの音楽が育まれてきた時代や地域における様々な文化とのかかわり、音楽と生活や社会とのかかわりについて理解する。 ・和楽器の音色や奏法の特徴を理解するとともに、表現上の効果を生かして個性豊かに演奏する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	・音楽Ⅲ（教出）						
学習方法	個人またはグループワーク						
評価方法	学期末成績＝授業内テスト（80％）＋平常点（20％） 授業内テスト：歌唱テスト・器楽テスト 平常点：授業参加度、発問、学習プリント、課題提出						

令和5年度（2023年度）熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	保健体育	科目（単位数）	体育（2）	学年	3	類型	全クラス
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	体づくり運動・体ほぐし運動 実生活に生かす運動の計画	実生活に役立てること、生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	水泳（クロール・平泳ぎ・バタフライ・背泳） 球技（バレーボール・卓球・バスケットボール） 体育理論	<水泳>記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 <球技>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開することができる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	球技選択（ソフトボール・サッカー・卓球・ハンドボール・バドミントン バスケットボール・バレーボール）	<球技>勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	陸上競技（長距離走） 体育理論	<長距離走>自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	球技選択（サッカー・ハンドボール・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球）	<球技>勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「現代高等保健体育改訂版」（大修館書店） 副教材：「アクティブスポーツ」（大修館書店）						
学習方法	実技、体育理論						
評価方法	それぞれの単元で実技テストや記録測定などを実施。その他、ファイル提出や定期考査の試験により評価する。						

令和5年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	家庭	科目(単位数)	フードデザイン(2)	学年	3	類型	文I
----	----	---------	------------	----	---	----	----

学習目標	食生活の現状を理解し、食生活を総合的にデザインする知識と技術を習得する。
------	--------------------------------------

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	第1章 食事の意義と役割 ・食事の意義と役割 ・食をとりまく現状 ・調理実習	・調理とおいしさの関係を理解する ・現代食生活の課題について理解する ・ゆで卵の調理性を通して熱を理解する ・食品の褐変とその特徴を理解する	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
1学期中間～ 期末考査	第2章 栄養素の働きと食事計画 ・からだのしくみと食べ物 ・炭水化物、脂質、蛋白質 ・ビタミン、ミネラル ・調理実習	・3大栄養素を理解する ・5大栄養素を理解する ・各栄養素が効率的に摂れる調理を考える	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
1学期期末～ 2学期 中間考査	・食事摂取基準と食事計画 ・ライフステージと栄養計画 ・調理実習	・1日に必要な栄養を摂る食事計画を立てる ・乳幼児や傷病者など一人一人のからだに合った食事計画を立てる	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
2学期中間～ 期末考査	第3章 食品の特徴と表示・安全 ・食品の特徴と性質 ・食品の生産と流通 第5章 料理様式とテーブルコーディネート	・食の安全について理解する ・テーブルコーディネートを理解する	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD
2学期期末～ 年度末	第6章 献立作成	・郷土食や行事食を調べる ・地域の特徴に合った食事を考える	取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD

使用教材 (教科書・副教材)	教科書「フードデザイン」実教出版
学習方法	授業のテーマに沿った実験・実習を通して、栄養や調理性について考え、その理論を理解すること。
評価方法	定期考査7割、平常点3割(課題提出、調理作品など)

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	外国語	科目（単位数）	コミュニケーション英語Ⅲ(4)	学年	3	類型	文理共通
学習目標	1. 英語の論理や構成に着目し、英語を適切に理解・発信する能力を身につける。 2. まとまった量の英文を読み、内容を適切に把握することができる。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	Skill 1 フレーズリーディング Skill 2 文のつながり Skill 3 予測・推測 Chapter 1 The Legacy of KANO Jigoro	①既習の文法内容とディスコースマーカーの有用性を駆使して、進出英文を理解する。 ②文章の基本的な構成について理解する。 ③トピック・文構成に注意して、文章を読み取る。 ④トピック・文構成に注意して、英文を聞き取る。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ ～期末考査	Skill 4 トピックセンテンス、文章構成 Skill 5 時間的順序 Chapter 2 Microfinance — A little Money Goes a Long Way — Chapter 3 Mona Lisa Chapter 4 Less than 0.08%	①時間順序、例示・列挙のディスコースマーカーについて理解する。 ②時間順序・文章の構成に注意して、文章を読み取る。 ③時間順序・文章の構成に注意して、英文を聞き取る。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ ～2学期 中間考査	Skill 6 例示・列挙・新情報の追加 Skill 7 言い換え、要約・結論 Skill 8 原因・理由と結果 Chapter 5 The Marshmallow Test Chapter 6 A Lucky Planet, Earth	①列挙・新情報の追加、要約・結論のディスコースマーカーを理解する。 ②列挙・新情報の追加、要約・結論を示す語句に注意して、文章を読み取る。 ③列挙・新情報の追加、要約・結論を示す語句に注意して、英文を聞き取る。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ ～期末考査	Skill 9 逆説・対比 Skill 10 スキミング・スキヤニング Chapter 7 Expanding World Population Chapter 8 Leave the Walls Alone	①既習のスキルを駆使して、文章を読み取る。 ②既習のスキルを駆使して、文章を聞き取る。 ③題材に関連する英文を聞き取る／題材に関連する文章を作って話し合う。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ ～年度末	各大学の入試問題過去問など	①既習内容を駆使して、文章を読み取る。 ②既習内容を駆使して、文章を聞き取る。 ③幅広いトピックを扱った英文を読むことで、教養を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書（MAINSTREAM English CommunicationⅢ）						
学習方法	①単語や熟語のような基本的語彙と、基本的文法事項を授業を通じて習得する。 ②語彙や文法をもとに、英文を文単位、段落単位、文章単位で読む訓練をする。 ③様々なトピックに関してその時々で自分の意見を持つ。 ④習得した英語を、自己表現のために活用する訓練をする。						
評価方法	①授業内で単語のテストを実施し、語彙力の定着を確認する。 ②定期考査を実施し、語彙力や文法内容の定着、英語を読み解く力を確認する。 ③暗唱テストを実施し、英語を書く力を確認する。						

令和5年度（2023年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	外国語	科目（単位数）	英語表現Ⅱ（文Ⅰ3、文Ⅱ、理系2）	学年	3	類型	文理共通
----	-----	---------	-------------------	----	---	----	------

学習 目標	1. 基本的な文法事項に基づき、応用的な文法内容を習得する。 2. 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理的に表現する能力を身に付ける。
----------	---

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
4月～1学期 期末考査	Lesson 17 認識の表現 Lesson 18 許可・提案・勧誘・ 依頼・要望の表現	①認識を表す動詞の種類と使い方を学んで理解する。 ②許可・提案・勧誘・依頼・要望の表現について学んで理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期中 間考査	Lesson 19 存在や変化の表現 Lesson 20 「させる」「される」 の表現	①存在や変化の表現について学んで理解する。 ②使役の意味を表す表現について学んで理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考査	Lesson 21 日本語とは違う表現 方法	日本語とは違う英語らしい表現について学んで理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～年度末	各大学の入試問題過去問など	①既習内容を駆使して、伝えるべき内容を英語で表現できる。 ②既習内容を駆使して、自分の考えを英語で理路整然と表現できる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 （教科書・副教材）	教科書（be English Expression II） 副教材（Engage, ブレイクスルー総合英語）
学習方法	①既習の基本的文法事項に基づいた応用的内容を、授業を通じて習得する。 ②様々なトピックに関して、その時々で自分の意見を持つ。 ③英語での簡単な自己表現をする訓練をする。
評価方法	①授業内で小テストを実施し、文法の理解力を確認する。 ②定期考査を実施し、文法内容の定着を確認する。 ③定期考査を実施し、英語での自己表現能力を確認する。